



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長 (氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,745	△0.5	368	26.6	234	△8.6	326	123.3
26年3月期第2四半期	8,786	8.6	290	531.1	256	—	146	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 328百万円 (129.2%) 26年3月期第2四半期 143百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	15.24	—
26年3月期第2四半期	6.83	6.71

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,039	—	5,719	—	—	40.7
26年3月期	15,262	—	5,393	—	—	35.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,719百万円 26年3月期 5,387百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,360	△0.6	820	16.0	620	△2.2	480	40.4	22.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	21,504,347 株	26年3月期	21,504,347 株
27年3月期2Q	113,637 株	26年3月期	112,937 株
27年3月期2Q	21,391,108 株	26年3月期2Q	21,392,708 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年11月18日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により企業収益の向上や雇用環境の改善傾向が見られ、緩やかな景気回復基調が続いているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減からの回復に鈍さが残り、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、中国産食材を中心とした輸入食材に対する消費者の不安の拡大や原材料価格や電気料金の上昇等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの充実に努めました。

また、平成26年9月25日にシンジケートローン契約を締結し、既存の借入金を長期契約にリファイナンスし、財務の安定性を向上させるとともに成長に向けた基盤強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高87億45百万円（対前年同期比0.5%減）、営業利益3億68百万円（対前年同期比26.6%増）、経常利益2億34百万円（対前年同期比8.6%減）、四半期純利益3億26百万円（対前年同期比123.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は198店舗であります。内訳は直営158店舗、暖簾6店舗、F C 34店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「GWハッピー大皿セットフェア」、「ヘルシー！オージービーフェア」、「生ビール&焼肉スクラッチフェア」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアや夏季限定「ひんやり冷麺」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は74億56百万円（対前年同期比0.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は5億36百万円（対前年同期比11.3%増）となりました。

#### ② 七輪房業態

七輪房業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は23店舗であります。内訳は直営21店舗、F C 2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「牛・羊・豚・鶏を賑やかに食す！牧場焼肉フェア」、「ご好評にお応えして堂々復活！牛一頭食べつくし祭」、「夏の行楽にぎわいセット」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアや「生果実いっぱい！涼感デザート」等のメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は10億69百万円（対前年同期比8.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億27百万円（対前年同期比57.0%増）となりました。

#### ③ その他業態

その他業態の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は12店舗であります。内訳は直営5店舗、暖簾1店舗、F C 6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「楽コンセプト（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「AGRICOCO（イタリアンカフェ）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億19百万円（対前年同期比30.6%減）となり、セグメント損失（営業損失）は1百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ12億22百万円減少し、140億39百万円となりました。これは主に、借入金の返済等により現金及び預金が減少したこと等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ15億47百万円減少し、83億20百万円となりました。これは主に、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加し、57億19百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上が要因です。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、11億53百万円減少し、17億85百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上5億67百万円、法人税等の支払額1億79百万円等により1億34百万円の収入となりました。前年同期と比べ1億65百万円(対前年同期比55.1%)の収入の減少となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入75百万円、敷金及び保証金の回収による収入98百万円、有形固定資産の取得による支出1億3百万円等により56百万円の収入となりました。前年同期は30百万円の支出でありました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入51億35百万円、短期借入金の純減少額12億23百万円、長期借入金の返済による支出52億18百万円等により13億44百万円の支出となりました。前年同期と比べ10億46百万円(対前年同期比350.5%)の支出の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が5,613千円減少し、利益剰余金が3,648千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,939,608	1,786,275
受取手形及び売掛金	338,957	273,718
商品及び製品	125,746	143,896
仕掛品	636	1,019
原材料及び貯蔵品	333,450	437,801
前払費用	211,335	206,003
繰延税金資産	75,643	70,272
その他	110,183	69,882
流動資産合計	4,135,563	2,988,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,234,469	2,174,318
機械装置及び運搬具（純額）	43,314	52,397
工具、器具及び備品（純額）	172,699	164,034
土地	5,627,685	5,539,208
リース資産（純額）	21,310	155,303
有形固定資産合計	8,099,479	8,085,262
無形固定資産	105,238	106,998
投資その他の資産		
投資有価証券	72,438	85,787
長期貸付金	855,012	840,752
長期前払費用	28,259	23,596
繰延税金資産	79,492	74,651
敷金及び保証金	2,569,302	2,523,946
その他	53,420	45,712
貸倒引当金	△735,974	△735,631
投資その他の資産合計	2,921,951	2,858,816
固定資産合計	11,126,670	11,051,076
資産合計	15,262,233	14,039,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	549,524	539,073
短期借入金	6,801,644	486,304
リース債務	11,553	43,052
割賦未払金	23,318	43,489
未払金	257,625	267,887
設備関係未払金	80,595	31,423
未払費用	509,233	466,740
未払法人税等	187,167	259,721
未払消費税等	84,408	137,810
賞与引当金	83,440	83,100
転貸損失引当金	3,217	3,217
その他	545,794	430,300
流動負債合計	9,137,522	2,792,118
固定負債		
長期借入金	7,172	4,654,020
リース債務	19,721	131,909
長期割賦未払金	63,852	102,080
繰延税金負債	118,197	118,084
役員退職慰労引当金	284,093	291,780
転貸損失引当金	24,932	23,324
退職給付に係る負債	138,758	133,019
その他	74,534	74,534
固定負債合計	731,261	5,528,753
負債合計	9,868,784	8,320,872
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	△260,603	69,147
自己株式	△67,871	△68,154
株主資本合計	5,391,171	5,720,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,762	△1,564
その他の包括利益累計額合計	△3,762	△1,564
新株予約権	6,040	—
純資産合計	5,393,448	5,719,075
負債純資産合計	15,262,233	14,039,947

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,786,404	8,745,048
売上原価	3,177,338	3,092,145
売上総利益	5,609,065	5,652,903
販売費及び一般管理費	5,318,069	5,284,366
営業利益	290,995	368,536
営業外収益		
受取利息	16,430	15,765
受取配当金	1,033	1,067
受取地代家賃	5,511	5,293
貸倒引当金戻入額	343	343
その他	22,461	21,904
営業外収益合計	45,781	44,374
営業外費用		
支払利息	73,829	68,291
支払手数料	—	100,000
その他	6,073	9,720
営業外費用合計	79,903	178,011
経常利益	256,874	234,900
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
受取保険金	—	3,924
債務免除益	—	361,663
特別利益合計	0	365,587
特別損失		
固定資産売却損	—	2,593
固定資産除却損	1,756	144
減損損失	10,264	21,858
賃貸借契約解約損	15,434	8,247
特別損失合計	27,455	32,842
税金等調整前四半期純利益	229,418	567,645
法人税、住民税及び事業税	77,849	234,590
法人税等調整額	5,558	6,952
法人税等合計	83,408	241,542
少数株主損益調整前四半期純利益	146,010	326,102
四半期純利益	146,010	326,102

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146,010	326,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,785	2,198
その他の包括利益合計	△2,785	2,198
四半期包括利益	143,225	328,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,225	328,300

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229,418	567,645
減価償却費	179,947	189,583
減損損失	10,264	21,858
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△403	△343
賞与引当金の増減額(△は減少)	355	△340
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,135	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,739	7,687
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△1,608	△1,608
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△125
受取利息及び受取配当金	△17,464	△16,833
支払利息	73,829	68,291
固定資産売却損益(△は益)	—	2,593
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
受取保険金	—	△3,924
債務免除益	—	△361,663
固定資産除却損	1,756	144
賃貸借契約解約損	15,434	8,247
売上債権の増減額(△は増加)	75,400	65,238
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,517	△122,883
前渡金の増減額(△は増加)	△44,329	△1,558
仕入債務の増減額(△は減少)	△99,221	△10,450
未払金の増減額(△は減少)	67,939	10,262
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19,194	53,401
未払費用の増減額(△は減少)	△23,185	△43,199
預り金の増減額(△は減少)	18,731	△78,143
前受収益の増減額(△は減少)	△30,444	△30,450
その他	△19,204	38,982
小計	355,376	362,409
利息及び配当金の受取額	16,231	15,710
利息の支払額	△73,455	△65,711
保険金の受取額	—	3,924
補償金の受取額	6,500	—
補助金の受取額	93,208	—
店舗閉鎖に伴う支払額	△5,943	△2,256
法人税等の支払額	△92,140	△179,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	299,777	134,737

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△54,364	△103,779
有形固定資産の売却による収入	—	75,610
無形固定資産の取得による支出	△15,678	△14,359
投資有価証券の取得による支出	△60	△9,966
敷金及び保証金の差入による支出	—	△1,420
敷金及び保証金の回収による収入	56,948	98,450
貸付金の回収による収入	2,486	2,487
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△20,380	9,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,048	56,508
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△114,208	△1,223,798
長期借入れによる収入	33,000	5,135,000
長期借入金の返済による支出	△205,529	△5,218,031
割賦債務の返済による支出	△6,997	△17,138
リース債務の返済による支出	△4,226	△14,288
自己株式の取得による支出	△196	△282
その他	△320	△6,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298,477	△1,344,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,746	△1,153,333
現金及び現金同等物の期首残高	1,346,376	2,938,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,317,630	1,785,260

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,481,661	988,769	315,974	8,786,404	8,786,404	—	8,786,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,481,661	988,769	315,974	8,786,404	8,786,404	—	8,786,404
セグメント利益又は 損失(△)	481,670	81,230	△11,951	550,950	550,950	△259,954	290,995

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10,264千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	7,456,818	1,069,032	219,196	8,745,048	8,745,048	—	8,745,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,456,818	1,069,032	219,196	8,745,048	8,745,048	—	8,745,048
セグメント利益又は 損失(△)	536,031	127,496	△1,152	662,375	662,375	△293,838	368,536

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、当該変更が当第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない全社資産について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては21,858千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。